

るって!

2020
12月

やってるって!まってるって!いってみるって!

2020年12月15日

発行 柏子どもの文化連絡会

連絡先 柏子どもの文化連絡会事務局

☎ 090-7708-0691/Fax 04-7108-1771

『るって!』は、柏、我孫子、松戸、つくしの各特別支援学校の小学部、中学部と、柏市内小中学校の全特別支援学級などへお届けしています。

《休刊のお知らせ》

朝晩の冷え込みが厳しくなり、今年も残り少なくなってきました。

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

ご報告が大変遅くなりましたが、今年度は「るって!」の発行を休止しております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベントや講座などの中止が相次いだ

ことが主な理由です。楽しみにして下さっている皆さまに情報を届けることができず、申し訳ありません。以前のように「るって!」をお届けし、再び皆さまの笑顔と楽しい声に触れられる日が来ることを心待ちにしたいと思います。

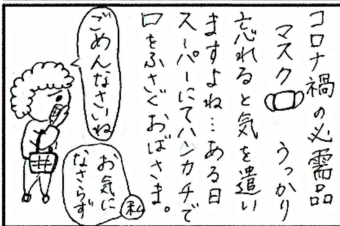
最後になりましたが、コロナ禍で影響を受けていらっしゃる方々へお見舞いを申し上げますとともに、心から安心して過ごせる日が一日も早く訪れるよう祈っています。

柏子どもの文化連絡会 会長 鈴木典子



ε> β⁰⁰ ♪ 0 0⁰⁰ ♪ <3
ε> ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ <3

No.72 コロナ禍の忘れ物



コロナ禍関係ない私のうっかりは
相変わらず"です"慌て戻りました。
寒くなりますが皆さまお元気で!
Lady Mama

ほっとひといき...

ティータイム

先月の大相撲は、関脇「隆の勝」関をはじめとして、柏市に縁の深い力士が注目を集めました。その縁のはじまりは、柏市役所広報番組の「カシケン」60話でも紹介されている小中学生対象の「柏相撲少年団」でした。

その相撲少年団に、中学の特別支援学級に通っているダウン症のある少年が入っていて、なんと、「柏げんきプロジェクト」のYouTube「僕には相撲がある...ダウン症少年の物語」が見られるというので、早速拝見し、お母さんにインタビューしてみました。

Q「どのようなきっかけで、相撲少年団にはいりましたか？」

A「思春期に体力を発散出来る場所を探していたことと、学校の部活と言う側面もあるので、普通の青春時代を与えたかったからです」

Q「お子さんを、障害のない子どもたちの集団に入れることに、心配はありませんでしたか？」

A「彼に合わないようだったら、その時考えればいいと、ダメ元で入団させました(笑)。

障害について理解のある指導者のもと、安心して続けてもらっています」

Q「相撲少年団に入り、良かったことは？」

A「学校や療育以外の場所で学べるのが沢山あることです。息子が相撲とその世界を大好きになり 自分で支度をしてお稽古に出かける姿が誇らしくも感じます」

子どもは、「家庭」「学校」「地域」の三つで育つと、よく言われますが、障害があると、「地域」がすっぽり抜けることが多いと聞きます。心配や迷いがあっても踏み出す親の勇気、それを受け入れる指導者の心意気、それによって子どもたちは彼らを自然に仲間として受け入れていくことでしょう。

「障害が軽いからできる、重いからできない、じゃないかもしれない。」と、思えてくる、少年と指導者と団員の皆さんの姿でした。(柏子どもの文化連絡会会員 そよ)

柏子どもの文化連絡会発行、「るって!」の姉妹紙「ほっとハッと通信」は、ホームページからもご覧になれます。「柏子どもの文化連絡会」で検索!